

丹邱学舎



令和2年10月29日(木)発行 校長 川崎 朗

志をもち、自ら学び、共に高め合い、遅く生き抜く西溪っ子の育成

秋の祭りに参加できませんでしたが、伝統のバトンはつなぎました!

10月25日(日)に多久聖廟の秋の秋の祭りが開催されました。コロナ禍の中ということで春に引き続き、秋の秋の祭りに児童生徒の参加や一般客をいれない形となりました。

しかし、本校の児童生徒は「秋の祭りの舞」や「腰鼓」を受け継いでいかなければならず、秋の祭りの発表の有無に関わらず、夏休みから練習を続けてきました。「秋の祭りの舞」は、7年生が外部講師の方から御指導をいただき、「腰鼓」は6年生が5年生に教えて本校の伝統のバトンをつないでくれました。コロナ禍の中でも伝統を守っている本校児童生徒の姿を何とか地域の皆様にも知っていただきたく、多久ケーブルテレビに相談をして、市教育委員会、孔子の里財団の協力を得ながら、児童生徒の頑張りを紹介する番組を制作することになりました。23日(金)に多久聖廟で実際に演技をする姿を撮影していただき、5・6年生が「腰鼓」を、7年生が「秋の祭りの舞」を披露しました。本番で着用する衣装に身を包み、すばらしい演技を見せてくれ、本当に感動しました。

子どもたちも、伝統の重みを受け継ぐことに身が引き締まった様子で、どこか誇らしげでもあり、この取組は、本校の児童生徒にとって貴重な経験であると改めて実感しました。子どもたちの頑張りに対して横尾市長様からも下のようなお褒めの言葉をいただいております。この伝統のバトンを受け継いだ7年生や5年生は、来年春の秋の祭りで、すばらしい演技を披露してくれると思っています。

なお、この取組は佐賀新聞にも掲載されましたので紹介します。また、ケーブルテレビでは11月5日から3日間、放送される予定なので、ぜひ御覧いただければと思います。

秋の祭りの祭りに参加できなかった練習への御礼

10月25日に開催された秋の秋の祭りに向けて、秋の祭りの舞、腰鼓、獅子舞などの稽古練習を重ねて下さっていた皆さん、日頃の取組みと、秋の祭りに向けた努力に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今回は春と同じく、新型コロナウイルス感染症のため、秋の祭りに行く予定の奉納披露がとりやめとなり、とても残念に思われている方も多いと思います。やむをえない事情であったことをご理解いただきたいと思います。

来春こそは、皆さんと一緒に、花咲く春のうららかな陽光のもと、秋の祭りの日を共にお祝いできるようにありたいと願っています。これからも練習を積み、二年分の思いを込め、頑張っていただけのように期待いたします。

秋は学びに最良の季節といわれます。学びやスポーツなどにそれぞれ頑張っ、大いに成長されるようお祈りしています。また、秋冬はインフルエンザや風邪が流行する時期にもなりますので、感染予防の「うがい・手洗い」、「手指消毒」などを忘れずに実行し、元気にお過ごしください。

2020年10月吉日

多久市長 横尾 俊彦



上段が5・6年生による「腰鼓」、下段が7年生による「稲菜の舞」

稲菜の舞と太鼓、CATVで披露



●多久聖廟で「腰鼓」を披露した子どもたち。●収録した映像は、地元のケーブルテレビで11月上旬に放送される—多久市多久町



(谷口大輔)

孔子像に供え物をささげ 鼓「腰鼓」を演奏している。春、秋の年2回の儀式に いずれも中国から学び、腰合わせ、7、8年生(中学 鼓は1992年から、稲菜は1、2年)が「稲菜の舞」、の舞は2004年から取り、5、6年生が腰に着けた太鼓組んでいる。

東原岸舎西溪校に「発表の場」

例年とは違う環境での披露となったが、子どもたちは「頑張ってきたからやり遂げたい」と元気に舞い、一体感のある音色を響かせた。映像は11月5日から3日間、放送される予定。

多久市 多久市の義務教育学校・東原岸舎西溪校の子どたちが継承している舞踊と太鼓の映像が11月上旬、市内のケーブルテレビ(CATV)で放送される。多久聖廟の儀式「稲菜」で披露する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止になり、関係者の協力を得て別の日に現地収録した。先輩から後輩へ、長年受け継いできた伝統を画面を通して披露する。

10月27日付けの佐賀新聞で紹介された記事

5年生と6年生の腰鼓については10月31日(土)に開催される文化発表会の中でも「多久の伝統『腰鼓』」という題で劇として工夫しながらステージ発表されます。当日はコロナ対策で、各家庭保護者1名しか参観できませんが、5・6年生の保護者の皆様には、ぜひ御覧いただければと思います。きっとすばらしい演技を披露してくれると思います。